

九州大学 CEO クラブ総会 議事概要

○日 時 令和5年11月22日(水) 16:30~18:00
(参考) 18:10~19:30 懇親会

○開催方法 対面とオンラインでの両形式にて開催

○会 場 ホテルオークラ福岡 4階「平安Ⅱ」

○出席者 別添のとおり

○進 行 園田 佳巨 委員 九州大学理事・副学長(同窓会担当)

○事務局 九州大学 CEO クラブ事務局(九州大学総務部同窓生・基金課 内)

1. 会長挨拶

石橋会長から、資料1に基づき、「Vision2030」における最新の取組として、『脱炭素』関連：水素燃料電池バスの運行、『環境・食料』関連：宗像ユニプロジェクトの展開について、また、価値創造型人材育成センターの設置や、QS 世界大学ランキング 2025 調査、九州大学基金への協力依頼等について発言があった。

2. 新規会員紹介

園田委員から、資料2に基づき、10名の新規会員について紹介があり、現在の会員数が114名である旨の報告があった。

続いて、会場出席の新規会員2名と、オンライン出席の新規会員1名から、それぞれ簡単な自己紹介があった。

3. 今年度の本クラブの活動状況

谷川幹事から、資料3に基づき、今年度の総長・運営委員が参加する少人数意見交換会やマッチング事業、ビジネスセミナー等具体的な活動実績について報告があり、また今年度の活動計画詳細として、理事・会員が参加する少人数意見交換会の実施予定や、新しい提案である「学生との交流プラットフォーム」及び「工学研究院からの当クラブへの提案」に関する説明があった。

これを受け、園田委員から、提案があった事業について会員からの協力もいただきつつ、進めていきたいとの発言があった。

4. 学生発ベンチャー紹介

園田委員から、会員からの要望が多い九州大学の学生やベンチャーに関する紹介として、九州大学を卒業・修了した学生発のベンチャー企業である「株式会社クアンド」と同社創業者である下岡純一郎氏から事業紹介がある旨説明があった。

続いて下岡氏から、資料4に触れつつ、クアンド社の概要・活動実績等についてスライド・動画等による説明があり、大要次のような意見交換があった。

- ・国内の土木・建設業界では人手が足りず外国人の作業員が増えているが、紹介されていたアプリではマルチ言語対応は考えているか。

→現時点では、英語には対応している。

・下岡氏一人で起業・経営されているのか、共同経営のパートナーがいるのか。

→九大同窓生である友人と共同創業したが事業運営に係る方向性の違いがあり、分社化し、現在は一人で代表取締役 CEO を務めている。

・クラブ世話人として更なる本クラブの活性化に向けて活動しているが、下岡氏のような若手経営者が本 CEO クラブに期待すること等あれば教えていただきたい。

→ベンチャー経営者としてありがたいのは、ネットワークと信頼をお持ちの CEO クラブ会員の方々の会社にて、自社のサービスや技術を使っただけなことであり、事業運営にあたってのサポートになると思われる。また、他には、経営者以外に相談しにくい事業や株等の話をできる関係性が、クラブ会員の方々との間で構築できればありがたい。

・自社は再生可能エネルギーのメンテナンス等行っておりぜひ御社のサービスを使用したい。日本の再生可能エネルギーの検査の技術は世界に比べても進んでおり、自社も協会等を作って海外に展開したいと考えているが、海外の通信の規格・インフラの違いや無線が入りにくい等の問題についてはどのように考えているか。

→基本的に Zoom や teams と同じように、インターネット環境があれば世界中どこでも使えるサービスとしている。

・様々なビジネスプランコンペで受賞されているが、御社のどのような所が評価されていると思うか。

→一つは、クアンドの取り組む課題が大きく、かつ重要であると認識されていることかと思う。一般的なデジタル化では、会計システム等の事務作業を効率化するものが多いが、自社の取り組む現場の労働力に関する課題解決はインフラに関わる分野で非常に重要なものであり、そこが評価された点かと思われる。もう一つは、アプリの機能など、現場を分かっている・よく知っている人間が提供しているサービスという点かと思われる。

→今後多様なデータを蓄積して行き、また新しいサービスが生まれる可能性があることに魅力を感じるので、そこをもっと広げて行かれてはどうか。

→今後は会話データや映像データを集め、ナレッジを蓄積し、検索できるようにしたいが、映像データは数値データと比べ、どう意味のあるデータが抽出できるか、AI がどう活用できるかについて研究開発や技術がより必要であるため、これから九大の AI 分野の専門家、例えば荒川教授等と連携させていただければありがたい。

5. 体制変更等について

園田委員から、本クラブの体制変更等について報告がある旨の説明があった。

続いて事務局から、資料 5 に基づき体制変更等の概要について説明があり、会員資格明

確化の詳細については資料5-1-1のとおり、体制変更の詳細については資料5-1-2のとおり、またこれらを受けた会則改正については資料5-1-3のとおり、11月10日開催の運営委員会において附議・承認された旨の説明があり、会員からは特段の意見等なく了解された。

また、園田理事から、資料5-2のとおり、今回の体制変更により、次年度の体制について、会員会長、学内幹事、会員幹事が選出された旨の報告があり、会員会長予定者及び会員幹事予定者から挨拶があった。

引き続き、園田理事から、資料6に基づき、10月の運営委員会（書面回議）にて、3名の新規世話人が選出された旨の報告があり、その後、今年度末に任期満了予定の現幹事から挨拶があった。

6. 閉会

園田委員から、次年度の総会等の日程については、後日事務局から案内する旨説明があった。

以上